

2009くらしのサポーター通信No.42

2009.12発行

ハイライト:

□今月のテーマ:製品事故から身を守るために

□交流コーナーコラム:7 ～「しち」と読むのか「なな」と読むのか～

製品事故から身を守るために

技術の進歩とともに新しい製品が次々に誕生し、私たちの暮らしはどんどん便利になっていきます。しかし、それとともに、製品に関わる事故が多発し、多様化してきています。

1 製品事故はどのような原因で起こっているのか

製品事故の原因は、大きく分けると「製品に起因する事故（製品自体が原因で事故となったもの）」と「製品に起因しない事故（使用方法等が原因で事故となったもの）」とに分けることができます。

平成18年度に、製品評価技術基盤機構（略称「NITE」）が収集調査した事故情報のうち、事故原因が特定されたものを、「製品に起因する事故」と、「製品に起因しない事故」に区分するとその件数の割合は、事故原因の約6割以上が、「製品に起因しない事故」です。

2 製品に起因しない事故の原因は

「製品に起因しない事故」の約9割は、使用者の誤使用や不注意な使い方と考えられる原因で起こっています。

- 平成15年度から平成18年度までで誤使用事故が多かった7品目

1. ガスこんろ	(29.9%)
2. 石油ストーブ	(15.9%)
3. 電気ストーブ	(5.6%)
4. 四輪自動車	(3.5%)
5. カセットこんろ	(2.8%)
5. 配線器具	(2.8%)
7. 石油ふろがま	(2.7%)

3 事故はどこで起こっているのか

製品事故の発生場所を調べてみると、家の中では火や家電製品をたくさん使う「キッチン・ダイニング」と暖房器具を使用することが多い「リビング・書斎」が多くなっています。屋外でもレジャー中に、大けがをしたりやけどを負うなど被害が大きな事故が起こっています。

生活場面別の事故事例

☆キッチン・ダイニング

■ガス（IH）こんろ■

・ガスこんろに天ぷら鍋をかけたままその場を離れていたため、鍋の油が加熱し発火して住居が全焼した。

チェック：天ぷら油は、強火で加熱後約5分～10分で自然発火する温度（370℃以上）に達します。火をつけたら、その場を離れないでください。どうしても離れる必要がある場合には、必ずこんろの火を消しましょう。

また、火を使わない電磁調理器でも天ぷら火災が起こっています。揚げ物をするときは油の量に注意し、鍋底が平らな物を使いましょう。油の量が少ない場合や、鍋底に反りがあると温度センサーが正確に働きません。

■小型ガス湯沸器■

・小型ガス湯沸器の長期間の使用で、機器内部にスス・埃などが詰まって不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒（意識不明）になった。

チェック：使用中に火が消えたり、炎の色が赤みをおびたり、嫌なにおいがする場合には使用を中止し、機器を買った販売店、ガス会社に連絡して、点検を受けてください。また、湯沸器を使用するときには、換気に十分注意してください。

■カセットこんろ■

・カセットこんろにカセットボンベを正しく取り付けなかったため、ガスが漏れ、漏れたガスに引火し、住居が全焼した。

チェック：カセットボンベは指定されたものを正しく取り付けましょう。取り付けが不完全だと、ガスが漏れて引火する恐れがあります。

また、カセットこんろを覆うような大きな鍋や鉄板を使用すると、鍋の輻射熱でカセットボンベが加熱されてボンベ内の圧力が異常に上昇して爆発することがあります。

■電子レンジ■

・手動で食品の加熱設定を行った際、食品の量に対して加熱の設定時間が長過ぎたため食品が加熱・発煙し、その直後に扉を開けたことにより、庫内に空気が供給され食品が発火し、やけどを負った。

チェック：食品は加熱しすぎると発煙・発火の原因となります。また、飲み物やとろみのあるもの、油脂分の多いものなどは、加熱中や加熱後に突然沸騰して飛び散る場合があります。加熱し過ぎた場合はしばらく冷ましてから取り出してください。

☆洗面所等

■ヘアドライヤー■

・使用中及び収納の際に、繰り返し電源コードの付け根部分がねじれ、折れ曲がった状態だったため、電源コードが断線してスパークし、火花が飛んでやけどをした。

チェック：ヘアドライヤーは消費電力が大きく、コードに無理がかかった状態で使用を続けると、コードが断線して危険です。コードに無理な負荷がかからないよう注意しましょう。

■洗濯機■

・脱水槽が完全に止まっていない状態で手を入れたため、回っていたふとんが指に絡みついて手の中指が第一関節から切断。

チェック：脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物に触れないでください。また、古くなった製品でブレーキが劣化し、脱水槽が停止するまでに時間がかかる場合があります。「ふたを開けてから15秒以内に脱水槽が止まらない場合は故障のおそれがあります。」機器の異変に気付いたら使用を中止し、点検を受けましょう。

☆リビング

■石油ストーブ■

- ・石油ストーブをつけたまま給油し、カートリッジタンクのふた（ネジ式）の締め付けが不十分だったため、漏れた灯油がストーブにかかって引火し、数十平方メートルを焼いた。

チェック：給油は必ずストーブの火を消してから行ってください。また、カートリッジタンクのふたは確実に締まったかどうか確認してください。

■スプレー缶■

- ・石油ファンヒーターの吹出口付近にスプレー缶が置いてあったため、缶が過熱されて内圧が上昇して破裂し、漏れた可燃性ガスに引火して火災になった。

チェック：スプレー缶を暖房機などの温風が当たるところに放置すると、熱でスプレー缶の内圧が上がって爆発し大変危険です。

☆屋外

■自転車■

- ・自転車で走行中に前輪に異物が入り込んだことから、前ホークとスポークとの間に挟まって前輪がロックしたため、転倒し、前歯2本を折った。

チェック：自転車のハンドルに荷物や傘などをかけないでください。また、購入後、何年間も点検をせずにチェーンがたるんだ状態のまま使用していたために転倒し、ケガを負った事故も発生しています。注意しましょう。

くらしのサポーター（阿波の助っ人）県内視察のご案内

次により参加者を募集中です。くらしのサポーターの皆様のご参加を心からお待ちしております。

<視察場所>

- ・（株）コープラスフーズ（徳島市不動西町）
- ・JA徳島市多家良支部（徳島市多家良町小路地）

<視察日時>

平成22年1月21日（木）10時30から15時まで（徳島駅前乗降の場合）
なお、沖洲マリントーミナルからの乗降もできます。

<参加費>

無料。ただし、昼食代1,000円（弁当・お茶代）は個人負担です。

<募集締切日>

平成22年1月15日（金）

<参加申込み方法等>

電話、ファクス又はメールで徳島県消費者情報センターまでお申し込みください。

電 話 088-623-0612

ファクス 088-623-0174

E-mail t-shouhi@mail.pref.tokushima.lg.jp

交流コーナー

くらしのサポーターのみなさんの質問や情報をお待ちしています。

くらしのコラム

7 ～「しち」と読むのか「なな」と読むのか～

最近では和数、「ひ ふ み よ い む なな や こ(こ) と(お)」とか、「ひとつ ふたつ みっつ よっつ いっつ むっつ ななつ やっつ ここのつ とお(そ)」と読むのを聞くことが少なくなった。「いち に さん し ご・・・」であるが、和数の読み方でまだ比較的生き残っているのは、7を、しち(阿波弁では ひち)と読んだり、なな、と読んだりすることだろう。

七を「しち」と読む言葉には、七五三、七五調、七言詩、七転八倒、七難八苦、七福神などがある。「なな」には、七癖、七色の虹、七重の膝、七草、七転び八起き、七つの海、七つ道具、七光などだ。また、七五三縄(しめなわ)などと思いの付かない読みもある。

国学者ならしち、なな、の読み方の区別が分かるのだろうか。

くらしのサポーター 三原茂雄

くらしのサポーター担当者より

消費者ホットラインが平成22年1月12日からスタートすることになりました。

消費者ホットライン(0570-064-370)は、国民が消費生活における各種トラブルに直面した際に、最寄りの相談窓口の連絡先がわからない場合でも、この電話にかけると、年末年始を除いて、近くの消費生活センターにつながるものです。(なお、各センター・窓口の受付時間に限りません。)